



「やっぱり生活上の話題が少なくなっている…」と、この原稿を書こうとした時に感じました。世の中の興味関心が、ずっとコロナに色付けされ続けていますし、自粛モードで、生活の色彩も、あまり変わらなくなっているのかもしれない。でも、子ども達の営みを振り返ってみると、先月もいろいろなエピソードがありました。あんずの児童は、12月と1月に計5名の新しいお友達を迎えました。これから一日一日コツコツと、それぞれの育ちをサポートしていきたいと思えます。先輩が頼もしく見えるのもそんなときですね。放デイは、新しい職員を2名迎え、子ども達もまた新たな風を感じています。「いいとこ見せなきゃ」と、無理に背伸びをしたり、カッコつけたり。う～ん “いつのまにか、どこか守りに入っていたんだな” と、この8行の文章で大反省です！

—2月・3月の予定—

- | | |
|----------|------------------------|
| 2月18日(木) | ドクターNの医療相談(児童・放デイ・保訪共) |
| 3月8日(月) | ST(児童) |
| 3月10日(水) | ST(児童) |
| 3月21日(日) | 卒園式(児童)【22日(月)児童のみ代休】 |
| 3月31日(水) | 新年度準備のためお休みです(児童・放デイ共) |



＝お知らせ＝

《事業所自己評価アンケートについて》(児童・放デイ共通)

*今年度も、児童・放デイ共に事業所自己評価アンケートを行います。
お忙しい中、申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。



《卒園式&お別れ会について》

*児童の卒園式は3月21日(日)に。放デイのお別れ会は3月の利用日に予定しています。
この春、児童11名が卒園し、放デイは2名が卒業します。
みんなで門出をお祝いしましょう！
詳細は決まり次第、別途お知らせしますので、よろしく願いします。



《ドクターNの医療相談》(児童・放デイ・訪問支援共通)

2月18日(木)に、埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。今回は4枠すべて埋まっていますが、年間4回実施しています。次年度の予定は後日お知らせします。
ご興味のある方はお申し出ください。





コロナ禍対策、みんなで、みんなのために、感染予防に努めましょう！

健康状態への早めの留意 こまめな手洗い 利用前の検温 手指の消毒

- * 大人は、マスクを着用されている方のみのお入り可。子ども達のマスクは、できる子のみで。
- * 換気、席の工夫等『密』にならないよう、子ども達に無理のない範囲で取り組みますが、小集団での支援の都合上、人は集まります。ご了解の上で利用していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- * 不確実な情報には気を付けましょう！何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

どらやきクラスの1月あれこれ



朝の会や活動の中でコツコツ積み重ねてきた手先遊び！

小豆落としや、スプーンで小豆やパスタをすくってお皿に移したり、トングつかみにネジまわし、ちょっと地味に見えてしまう活動ですが、手、指、指先をたくさん使える活動になっています。くり返してきたことで、手際もよくなり、スピードも上がってきているなど感じています。コツをつかんでできていますし、ひとつひとつの道具の使い方も上手になりました。

食事の時のスプーンやお箸の持ち方も意識できるようになり、声をかけたり見せたりすることで「あっそうだった」と、すすんで持ち帰る姿も見られるようになっていきます。手指の使い方が上手になっていることで、食べこぼしも減っていませんか？

数か月前の食事の姿を思い返して、今の食事の姿と、ぜひ比べてみてください。



カステラクラスの1月あれこれ

1月は、「たくさん身体を動かそう」の目当てで『うんどう』に力を入れてきました。ホールで活動の挨拶をすると、目の前には坂道になった二本橋と梯子（久しぶりの登場です）、巧技台をのぼってフープに向かってのジャンプ、ぶら下がり…がセッティングされています。裸足になって準備ができた子から活動開始。繰り返し取り組んでいることもあり、まずは得意なやりたい場所へ直行です。「足もとを見て」「ゆっくりでいいからね」「いち、にの、さん」等の声かけに耳を傾け、自分の身体を感じながら、取り組めるようになってきました。

また、スタートラインに引かれたテープを意識したり、割り込みや一方通行で逆戻りしないといったルールも「順番」「前のお友達が終わってからね」等の声かけと共に守ることができるようになってきています。

改めて、繰り返し取り組むことの大切さと、そのことが着実に力になっていることを強く感じました。一年でいちばん寒い時期ですが、子ども達のパワーで、カステラクラスは熱気と活気で日々暑いほどです。

放デイのひと一言



新しい年、最初の放デイの目標は『なまえをよばれたらへんじをしよう』でした。ん?? そんな基本的なこと…と思った人もいるかもしれません。でも、あいさつ場面での姿は人によっていろいろなのです。

例えば、あんずに着した時、ガラッとドアを開けてすぐに「おかえり！」と声をかけます。「ただいま！」と大きな声で応えてくれる人、恥ずかしそうに横を向き、早口で挨拶する人、とさまざまです。そして、はじまりの会では、ひとりずつ呼名して出席確認をしますが、その時の姿勢もさまざま。まっすぐ前を向いている人、横を向いている人、足を組んで座っている人などなど。どんなあいさつも、相手に身体を向けて（目線を合わせるのはちょっとニガテな人もいますと思いますが、そこは個性です♡）、言葉を発したりジェスチャーで表すことが、生活の中では大事な姿です。

もしかしたら、自分が今どんな姿勢でいる？ということに、気づきにくい人もいるかもしれません。活動の中にある「からだであそぼう」のような時間で、たくさん、そしてゆっくり身体を動かしながら、自分に意識を向けていけるといいですね。

スマートでかっこいい、あいさつの達人を目指しましょう♡

【新しい職員の紹介】主に放デイに勤務することになりました2人を紹介します！

はじめまして！12月からあんずで働いています、**田部 幸（たべ みゆき）**です。メロンパンと昔飼っていたハッピー（犬）が大好きです。たくさんお話をして、みんなと笑い合えたらなと思っています😊今、“あつもり”にはまっています。よろしくお願いします！

1月からみなさんと一緒に過ごすことになりました、**鵜飼 敦美（うがい あつみ）**と申します。スイミングスクールでコーチをしながら、あんずで仕事をさせていただいております。お気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

保育所等訪問支援1月のある日ある時

まずは、緊急事態宣言の最中、幼稚園、保育所、学童保育室の先生方には、訪問支援を受け入れていただいていることに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

お正月明け、家庭で十二分に充電してきた子ども達は、“待ってました”とばかりに、一段と成長していました。訪問しているその子の姿を追っていると、何度もうなずいてしまう場面が、どの子にもありました。

クラスみんなの成長スピードにも目を見張るものがあります。その中で、これまでのように過ごしていくには、その子なりに適応していくための工夫が必要です。人懐こさを活かして輪の中に入り、ちょっとわからないことは、見様見真似でこなしていく子。いつもは少し静か目にしていても、得意分野がやってきたら、「そろそろ出番か！」と、思い切りアピールして楽しむ子。遅れないように、上手に先回りをしてみんなを出迎える子。そして、その子の特徴を活かして、見守り、手を引き、背中を支える名マネージャーの先生方。

きっと、あっという間に春ですね！





『泣いた赤鬼』 作/浜田 廣介



2月になると節分の行事があります。「鬼は外、福は内」と豆を投げて邪気払った経験がありますよね。広辞苑には、鬼とは想像上の怪物、悪神と出ています。確かに、桃太郎でも一寸法師でも、鬼は悪者です。また、鬼ごっこでも、負けた人は鬼になります。

この「泣いた赤鬼」は、そんな概念をくつがえされるお話です。赤鬼も青鬼も、とてもいとおしく思えます。たまには昔の童話をいかがですか？子ども達に読み聞かせながら、大人が感じとることもあるでしょう。そういえば、今話題の「鬼滅の刃」も鬼が出てくるお話でしたね。(田辺)

☆お 礼☆

先月は、BOXティッシュやタオル、消毒液等の衛生用品のほか、お皿、座布団、オモチャを、いろいろな方からいただきました。「これがあるといいな」と思っていたものばかりで、ビックリです。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



相手の顔が半分見えないので、身振り手振りがあると安心します。それは子どもも同じです。マスク慣れにも注意ですね。